

【がれきの広域処理】東日本大震災で生じたがれきの広域処理のため、受け入れがれきの放射能濃度を1キログラムあたり100ベクレル以下とする県独自に策定したガイドラインについて、後藤健一委員（新政みえ、二期、松阪市）は、山中光茂松阪市長が受け入れ基準を不検出としていることについて見解を求めた。岡本道和廃棄

物対策局長は「100ベクレルを下回っていれば全く問題ない。その下を目指すのは市町の事情」としながらも、「不検出を条件にした場合、常に廃棄物を確保できるか相手方と調整を要する。岩手県北部の木くずでも少し検出されると聞いている」と答えた。